

# 津幡町

## 庄ナカナシマ遺跡 しょうナカナシマいせき

庄ナカナシマ遺跡は津幡川右岸の平野部に位置する中世の遺跡で、発掘調査では鎌倉時代初頭の土師器皿が大量に出土しました。地域有力者が祭祀行為のために大量に投棄したものと考えられています。この遺跡は津幡氏や井家氏など武士が歴史上から姿を消す鎌倉時代初頭と年代が合致しており、出土品は津幡町の歴史を語るうえで欠くことのできない貴重な資料となっています。

## 田屋森山遺跡 たやもりやまいせき

出土品：津幡町指定文化財（考古資料）

津幡町の山中にある遺跡で、大正9年(1920)、開墾中に土中から約1万枚もの古銭が出土し、うち約1,500枚が現存しています。全て中国からの輸入銭で、室町時代初頭に埋められたものと考えられています。



遺跡の位置図

◀庄ナカナシマ遺跡の土師器皿出土状況